

不知火だより

平成 28 年熊本地震におけるご支援へのお礼

施設長 由解幸四郎

今回の熊本地震では多くの関係者の方々にご心配をおかけしましたが、先ずは、入居者全員と職員に負傷等はなく安全が確保できていることを御報告させていただきます。

施設では建物、設備には少なからず損傷が生じ、数日にわたる断水、エレベーター停止等の事態も発生しました。職員にも住居の半壊、一部損壊した者、さらに避難生活、車中泊等を余儀なくされた者が多数いる状況での震災対応と介護業務に追われる日々でした。

そんな混乱の中、入居者ご家族、当施設職員OB、財団本部、各ケアプラザ及び各支援センターの方々からご心配、励ましのお言葉と多くの食料品、飲料水などを賜り、この皆様の励ましが職員の力となり困難事態を乗り切ることができました。職員一同、心から感謝申し上げます。

いまだ続く余震の中不安もありますが、職員一同、ケアプラザ宇土の更なる発展、向上、併せまして、熊本県民の一人として熊本の復興に努めてまいります。関係者の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



☆☆☆☆
 画像は熊本地震により崩壊した「宇土市役所」です。現在は立入禁止で取壊し作業が進められています。
 ☆☆☆☆

◇平成 28 年 6 月実施の「グランドゴルフ大会」◇



雨上がりの大会でした。少数精鋭での白熱した接戦では、僅差で決着がつけました。終了後は笑顔でハイポーズ。

◇平成 28 年 6 月実施の「ミドリライヴ 住吉神社」◇



大雨の合間、晴れ間が広がったため、紫陽花で有名な住吉神社を訪れました。普段は施設内のみで生活している入居者の皆さんです。ドライブでは笑顔で素晴らしい表情でした。

◇平成 28 年 7 月の「スポーツ大会」◇



今回は多くの入居者が参加し紅白に分かれて大激戦でした。競技に集中する眼差しはいつもの表情とは別人で驚きです。

◇平成28年8月実施の「納涼祭」◇



第18回納涼祭は熊本地震を考慮し、広い食堂内で行われました。施設長の挨拶でいよいよスタートです。



今回の司会進行役の挨拶です。プロの協力を得て、素晴らしい音響設備での開催となりました。



恒例のおたのしみビンゴゲームでは、入居者の視線はカードに注がれます。普段では見られない集中力を発揮しました。賞品は何が入っていたでしょうか。



納涼祭の最後を締めくくる抽選会では、入居者の皆さまははらはらドキドキしながら当選をじっと待ちました。※今回の納涼祭は震災で室内となりましたが、来年度は暑い屋外での開催を楽しみに待ちたいと思います。

～宇土駅前郵便局「入居者」作品展～



宇土駅の近隣郵便局において、入居者「新盛光秀」氏の個展が開催されました。今回の個展を知り、わざわざこの郵便局を訪れるお客さん多いとのこと。これからも多くの方を楽しませて頂きたいと思います。

～◇労災重度被災者作品展に向けて◇～

ケアプラザ宇土に入居してから絵手紙をはじめた篠原さんです。毎年、作品展へ参加することが楽しみのひとつです。今回も頑張って作成した新作を作品展に届けます。



～宇土東小学校4年生の施設見学～



ケアプラザ宇土に隣接する宇土東小学校から毎年4年生全員が施設見学に来ます。施設担当者の説明を真剣に聞いていますが、しっかり理解できたでしょうか。

◇編集担当者より◇

熊本地震では施設が被災し、多くの方々から支援を頂きました。苦しい時の支援は本当に嬉しく思いました。これからも復旧の日々が続きます、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

熊本労災特別介護施設(ケアプラザ宇土)
〒869-0407 熊本県宇土市松原町 243
電話番号 0964-23-2211
ファックス 0964-23-2214

